

## 小規模多機能型居宅介護 和が家「サービス評価」 総括表

法人名	有限会社 パートナーステーション	代表者	小原 陽一	法人・ 事業所 の特徴	高齢者が慣れ親しんだ地域での生活が継続できるよう、人と人が助け合い、1日1日が高齢者の生活にとって質・量ともに適切な支援が受けられ、また個人の尊厳ある生活が確保されていくことを目指します。 自然豊かな春光台に位置する地域性を活かし、毎日の生活の中で自然を感じながら、優しく穏やかな時間が共有できるよう共に過ごして行きたいと考えます。
事業所名	小規模多機能型居宅介護 和が家	管理者	長尾 友美		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	2人	4人	1人	人	1人	人	5人	人	13人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	事業所常勤職員及び時間契約職員においても自己評価に取組み意見を聴取していく。	全体の職員に意見を聴く事ができ見直すことができた。	事業所常勤職員及び時間契約職員においても自己評価に取組み意見を聴取できている	前回同様、継続して聴取を行う
B. 事業所のしつらえ・環境	職員の入社時や会議で施設についての説明や確認、環境についての確認を行っていく	会議などでも定期的に確認が出来る。	近所に住んでいるが、不快な事はなく、行事ごとの音が聞こえてくるのが心地よく感じる。臭いも気にならない。	職員の入社時や会議で施設についての説明や確認、環境についての確認を行っていく
C. 事業所と地域のかかわり	地域の行事やイベントの参加は継続していく。地域の方々が気軽に来られるように明るい挨拶や入りやすい雰囲気作りに努める	イベント等の参加は継続できている。他者に対し笑顔で接しているよう努めている。	挨拶等を気持ちよくしてくれている。利用者と共に参加している所をよく見かけている。	地域の行事やイベントの参加は継続していく。地域の方々が気軽に来られるように明るい挨拶や入りやすい雰囲気作りに努める
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	今後も町内の活動に本人の意向を尊重しながら支援していく	地域のお店など週1回出かけ、本人の暮らしに必要なものを一緒に買物などし生活支援を行っている。	地域の行事やイベントで姿を見受けられている。また、町内を散歩している姿も見られ、声もかけやすい	前回同様、継続して町内の活動に本人の意向を尊重しながら支援していく
E. 運営推進会議を活かした取組み	今後も2カ月に1回の運営推進会議を通じ、事業所報告、登録者及び職員と地域の皆様との情報共有に努める	2ヶ月に1回の開催は継続している。	2ヶ月に1回の開催は継続されており、資料も毎回わかりやすく作られている。	前回同様、継続して情報共有に努めていく
F. 事業所の防災・災害対策	今後も継続し、地域の協力を得ながら実施していく	地域の方に参加していただき、訓練を継続できている。	避難訓練は出来る限り参加していきたい。救命講習も勉強になった。	地域の協力を得ながら訓練を実施していく